

伊万里 市議会だより

IMARI SHIGIKAI NEWS

No. 95

令和7年12月(2025年)



令和7年4月1日に、伊万里市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例が施行されました。

ボランティアまつりで手話コーラスを披露する伊万里手話の会(伊万里コミュニティセンター)

- 定例会 P.2
- 予算・決算 P.3、16～17
- 常任委員会 P.4～6
- 報告 P.7～8
- 一般質問 P.9～15

令和7年第4回定例会は、12月1日(月) 開会予定です。

特集

ようこそ! 伊万里市議会へ ... P.18

市議会のホームページは「伊万里市議会」で検索、または右の二次元コードからご覧ください。



第3回定例会 令和7年9月1日(月)～10月10日(金)

上程された議案は、すべて可決、認定および異議ない旨、答申しました

令和7年度一般会計予算	9月補正額	9億7,912万円
	10月補正額	985万5千円
	予算総額	358億3,331万3千円

歳入において、普通交付税の確定に伴う地方交付税ほか、令和6年度決算に伴う繰越金等を計上するとともに、歳出においては、黒川町まちづくり運営協議会の家読のすすめ推進事業、MIRAI子育て応援事業、いまり秋祭りの開催等への補助、伊万里駅前ロータリーの改修、小学校の屋外トイレや中学校のトイレの洋式化などに要する経費を計上したほか、本年度大雨により被災した農業用施設等の復旧に要する経費など当面急を要する経費のため、増額しました。

★令和6年度決算については、P16～17に掲載しています。

●人権擁護委員候補者の推薦

- | | |
|----------------|---------------|
| *中島 康子さん（瀬戸町） | *松尾ふき子さん（松浦町） |
| *吉野 憲治さん（黒川町） | *高木 和之さん（山代町） |
| *福地 佳野さん（波多津町） | |

意見書を全会一致で可決し県に提出しました

廃棄物最終処分場建設計画に対する慎重な対応を求める意見書

【提案理由】

伊万里市や佐賀県の域内での必要処理量を極端に超える規模の廃棄物最終処分場建設は、住民へ過度な負担を強いることは明らかであることから、廃棄物最終処分場建設計画に対し慎重な対応を求めるため。

【意見】

- 1 現状を踏まえ、佐賀県産業廃棄物処理施設等の設置等に関する指導要綱第2条第6号の関係地区等の範囲の見直しをはじめ、早急に現行制度を改正すること。
- 2 既に許可された黒川町黒塩区での廃棄物最終処分場建設について、市民の不安払しょくと十分な説明を行い、市民の理解を得るように許可権限者としての責任を果たすこと。
- 3 市民の理解なしに、黒川町黒塩区における廃棄物最終処分場建設に着工しないよう業者へ指導すること。
- 4 牧島地区木須西区での新たな廃棄物最終処分場の建設計画については、関係地区等との協議を行い完全な理解を得るまで、慎重に対応すること。

予算審査特別委員会報告

9月4日の本会議において付託されました諸議案について、審査の結果、議案甲第33号から議案甲第38号まで、および議案乙第20号から議案乙第26号までの議案については、原案のとおり全会一致で可決すべきものと決定いたしました。

意見

・MIRAI子育て応援事業について

本事業については、地域全体で子育てをするという機運を高めるため、幅広い世代が参加しやすいよう、イベントの名称等を再検討すること。また、補正予算を提案する際は、「当初の段階では予測不可能または急を要するもの」という本来の趣旨を踏まえた上で提案すること。

主な質疑・回答

・MIRAI子育て応援事業について

まず、補正予算で新規事業を実施する理由について質疑があり、当初予算の要求では市民センター内に設置されている「いまりっこらんど」のオープンに合わせた実施を計画していた。しかし、査定の段階で「より多くの市民が参加できる形での事業となるように。」と再考の指示があったため再度検討した。その結果、当初計画していた日時では、市民センターの文化ホールの確保ができず、また、令和7年9月から令和8年3月まで文化ホールの改修工事で使用できなかったため、新たな会場の選定に時間を要したとの回答であった。

つぎに、会場や時期、内容の選定理由について質疑があり、東山代複合施設の機能が本事業の目的に合致したため。また、時期は施設のお披露目も兼ねることができ、さらには、多くの来場者を見込め、本事業の効果を高めることができると判断したためとの回答であった。

・いまり秋祭り開催支援事業について

当初予算額に対して補正予算額の割合が大きくなった理由と増額分の内訳について質疑があり、想定していた以上に人件費や物価が高騰したことが主な要因であり、前夜祭に要する経費も含まれるという回答であった。

・小学校管理事業について

屋外トイレの改修内容について質疑があり、洋式化及び必要なスペース確保のための増築、パーテーションで仕切っていた箇所を完全に壁で仕切ることによるプライバシーの確保等との回答であった。

	◎委員長	前田 久年	○副委員長	力武英一郎
総務分科会	◎会長	盛 泰子	○副分科会長	松尾 伸人
	委員	金原 晋作 / 山口 常人 / 梶山 太 / 井手 勲		
文教厚生分科会	◎会長	松尾 真介	○副分科会長	西田晃一郎
	委員	加藤奈津実 / 塚本 博幸 / 木寺 智子 / 児玉不二子		
		力武 勝範		
環境建設分科会	◎会長	前田 邦幸	○副分科会長	川添 智徳
	委員	林 博幸 / 力武英一郎 / 香月 孝夫 / 前田 久年		

駅前広場駐車場が廃止されます

<改正の概要>

「伊万里駅周辺プロジェクト」の一環として、新たなホテルが建設中であるが、今般の伊万里駅前ロータリー機能見直し（広場化など）に伴い、駅前広場駐車場を廃止する。

伊万里市市営駐車場条例の一部改正

- ①駅前広場駐車場に関する文言を削除。
- ②駐車場を使用することができる車両を普通自動車に限定する。

質疑 無料停車スペースを4台確保するが、長時間駐車する方の対策は。

回答 ホームページによる告知や現地に看板を掲示する。



▲駅前ロータリー現地視察

住民基本台帳に記載のない人（住登外者）の情報が統一化されます

<改正の概要>

全国の自治体が共通の基準で情報システムを導入・運用する取組（システムの標準化）が進められている。その一環として、住登外者を対象に重複のない宛名番号を付与し、共通で利用できるシステムを構築する。

質疑 システム標準化の費用は？国からの財政支援はあるか？

回答 約4億円かかる。全て国庫補助である。



現在 システムごとに宛名番号を付番



改正後 宛名番号を統一

〈委員長〉盛 泰子／〈副委員長〉松尾 伸人／中山 光義／金原 晋作／山口 常人／梶山 太／井手 勲

山代東小学校と山代西小学校が統合されます

現在の山代東小学校と山代西小学校を統合し、新たに「山代小学校」として設置するので条例の一部を改正する。

今回の統合の背景には、山代西小学校での複式学級にある。複式学級とは、一人の教師が同じ教室で複数学年を指導する形態を指す。児童数の減少が続く中で、子どもたちにより良い学習環境を提供するためには、学年ごとに十分な教育体制を整えることが必要であるため、複式学級の解消を図ることが、

今回の統合の大きな目的となる。

また、学校を一つにまとめることで、児童同士の交流の幅が広がり、行事やクラブ活動などの学校生活も一層充実することが期待される。さらに、教職員の配置や施設利用の効率化など、教育の質の向上にもつながるものと考える。

統合後の校舎は、現在の山代東小学校の校舎を活用し、開校は令和9年4月を予定している。



▲山代東小学校

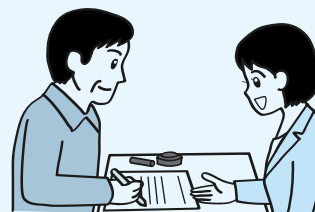


▲山代西小学校

〈委員長〉松尾 真介／〈副委員長〉西田 晃一郎／加藤 奈津実／塚本 博幸／木寺 智子／児玉 不二子／力武 勝範

印鑑登録証を紛失した際は、新たに登録の申請が必要となります

今までは印鑑登録証を紛失したら登録証を再発行できたが、これからは印鑑登録を廃止した後に引き続き必要であれば、再度、印鑑登録の申請が必要になる。即日登録する際は、マイナンバーカードなどの顔写真付き身分証明書と登録したい印鑑が必要。



産業廃棄物処理施設の設置等に関する新たな条例が制定されました

市民の良好な生活環境の保全を図るために、今後市内において産業廃棄物処理施設設置等の計画がある場合は、事業者が市への計画概要の提出を義務付けて、市はホームページ等で公表する。計画の公表後、条例に定める関係住民等から意見聴取する。なお、関係住民については、県の指導要綱より範囲を広げており、処理水の排水により影響を受ける漁業者や農林業者を新たに加えた。

質疑 本条例制定についての議案が今議会に上程された理由について。

回答 黒塩地区における廃棄物最終処分場の建設計画が、事前に市民に対し、事業者や行政などから計画概要等の情報を十分に提供できないまま、設置許可申請の手続きが進み、許可に至ったという経緯があった。

今後、このような事態を未然に防ぐためにこの条例案を提案した。

意見

佐賀県産業廃棄物処理施設等の設置等に関する指導要綱の改正等の動向を見ながら、本条例の改正等も含めて適切な対応を行うこと。



〈委員長〉前田 邦幸／〈副委員長〉川添 智徳／林 博幸／力武 英一郎／香月 孝夫／前田 久年

議会機能向上特別委員会

令和7年第2回定例会において設置された本委員会は、令和7年7月8日、24日、8月5日及び25日に委員会を開催した。

第1回委員会では、当委員会の設置目的である伊万里市議会基本条例の再点検、見直しや議会主導の主権者教育の調査、研究、企画立案等の必要性について確認するとともに、この委員会の今後の進め方について協議した。

第2回委員会では、各委員が調査した主権者教育に関する地方議会の先進事例を参考にしながら伊万里市議会で行き組む内容について協議した。各委員からは中学生議会や高校生による議場傍聴と意見交換会の実施など様々な意見が出たが、まずは小学5、6年生20人までを対象とした主権者教育を、令和8年度の夏休みに伊万里市議会棟で実施することとした。

第3回及び第4回委員会では、主権者教育の具体的な実施内容やスケジュール等について協議を行い、①市議会説明、②議会棟見学、③グループワーク（委員会体験）、④議場での委員会報告（本会議体験）、⑤アンケート記入という流れで実施することとした。今後は、10月末をめどに主権者教育の実施内容を取りまとめた後、議会基本条例の再点検や見直しの協議に入ることとしている。

〈委員長〉林 博幸／〈副委員長〉力武 勝範／加藤 奈津実／木寺 智子／川添 智徳／山口 常人

空き家対策調査特別委員会

令和7年第2回定例会において設置された本委員会は、令和7年6月20日、7月1日、8月5日及び18日に委員会を開催した。

第1回委員会では、今後の進め方について協議を行った。

第2回委員会では、執行部から空き家の状況及び各種取組について説明を受け、課題として「相続登記」、「空き家予防策」、「空白期間の短縮化」の3つが示され、質疑応答と委員間討議を行った。

第3回及び第4回の委員会では、他市町事例の研究や市内の空き家の現状を討議した。

本市では平成24年に、「伊万里市空家等の適正管理に関する条例」を県内でいち早く制定し、現在は「第2次伊万里空家等対策計画」に基づき対応しているが、管理不全の空き家については、地域住民から不安の声が上がっている。今後は、執行部から示された3つの課題と「利活用の推進」、「発生の抑止」、「情報収集の体制づくり」も含め、議論を重ねていくこととしている。



〈委員長〉梶山 太／〈副委員長〉金原 晋作／児玉 不二子／西田 晃一郎／松尾 真介／前田 久年

伊万里市議会では、スムーズな議会運営を行うことを目的として、8月4日から6日まで、議会運営において先進的かつ特徴的な取り組みが行われている三つの市議会を視察した。

①三重県志摩市議会（令和7年8月4日）

●タブレット端末が導入され、個人PCも併用可能で議会のペーパーレス化を実現

議会運営効率化やペーパーレス化を目的に、タブレット端末を導入すると共に議員の個人PCも使用可能として、全てがペーパーレス化されている。

●議員全員で組織する予算決算常任委員会を設置

予算決算常任委員会を設置され、議長を除く議員（委員）全員で、款、項順に審査が実施されている。

【委員所感】

- 議会内のペーパーレス化を実現し、費用面や業務の効率化等、一定の成果を得ている。
- 常任委員会の所管以外の項目にも審査に加われるメリットがある反面、時間が大幅にかかるか、時間を気にして審査が浅くなることが懸念される様に感じた。



▲三重県志摩市議会議場

②愛知県一宮市議会（令和7年8月5日）

●常任委員会をライブ配信

常任委員会のYouTubeによるライブ配信が行われ、市民への情報伝達に注力されている。

●予算決算も常任委員会にて審査、正副委員長に事前説明会を実施

予算決算においても常任委員会に分割付託され、正副委員長は委員会内での質疑ができないルールであることから、執行部から事前説明を行う正副委員長会が行われている。

【委員所感】

- 保有設備と技術を有効に活用された取組であり、伊万里市議会としても、今後検討の余地があると思う。
- 正副委員長会と常任委員会は同じ流れで行うため、執行部が同じ説明を二度行うのは、一宮市議会の委員会のルールに沿って、よりスムーズな進行を行うための仕組みだと思うが、効率面での疑問を感じざるを得なかった。

③愛知県半田市議会（令和7年8月6日）

●1年サイクルで政策を提言

6月までに委員会（常任、特別）の閉会中審査の調査テーマを決定し、翌年5月に政策提言を実施されている。

●議長を正面中央に左右対面方式の議場

国内の他の大部分の議場と違い、議長が正面中央に座り、左右の対面方式で座る執行部と議員全員を横上から見渡すことができる配置の議場となっている。

【委員所感】

- 委員会の重要性を具体化している事例であり、伊万里市議会でも早速取り入れたい内容であると感じた。
- この様な配置の議場は、全国においても数少ない例の一つであるが、導入に際しては、議論を重ねる必要があると感じた。



▲愛知県半田市議会議場

〈委員長〉香月 孝夫／〈副委員長〉力武 英一郎／塚本 博幸／松尾 伸人／前田 邦幸／井手 勲／盛 泰子

一般質問 (質問順)

議員名	質問事項
前田 久年 (幸風会)	1. 防犯カメラについて (1)防犯カメラの設置効果 (2)公共施設への設置状況 (3)今後の公共施設への設置計画 (4)地区で設置する場合の費用 (5)地区で設置する場合の助成制度と過去5年の設置実績 (6)各地区からの設置希望に対する対応 (7)市もしくは県全体の問題との考えはないか 2. 廃校活用について (1)児童・生徒数の推移と学校統廃合等の状況 (2)廃校した施設の活用
児玉不二子	1. 国政選挙について (1)投票等の総括 (2)今後の対策 2. まちづくりについて (1)市の文化遺産に対する考え (2)祭り存続の対策
井手 勲 (幸風会)	1. 教育行政について (1)水泳授業の現状 (2)プール施設の残耐久期間とその後授業方針計画 (3)学校体育館の空調設備 (4)学校給食無償化 (5)廃校跡地
松尾 真介 (伊想会)	1. 廃棄物最終処分場建設計画について (1)主な経過とこれまでの市の動き・対応 (2)浸出水調整槽の貯水能力と処理水の安全性 (3)計画地の使用年数20年後の企業・市・県の対応と責任 (4)住民投票
盛 泰子 (伊想会)	1. 学校における諸問題について (1)いじめ・「不登校」の状況 (2)スクールロイヤー (学校弁護士) (3)教員業務支援員 2. 危機管理について (1)マイナンバーカードの状況 (2)緊急時の活用 (3)原発避難訓練の振り返り 3. 新たな条例制定について (1)廃棄物最終処分場の問題
梶山 太 (翠蓮会)	1. 黒塩地区における廃棄物最終処分場について (1)これまでの経緯 (2)意見照会の詳細 (3)産業廃棄物処理施設等の設置等に関する指導要綱の考え方 (4)市の監視 (5)今後の対応 2. 医療的ケア児の現状と災害時の対応について (1)医療的ケア児の現状 (2)災害時の避難計画 (3)避難所の検討

議員名	質問事項
香月 孝夫 (伊想会)	1. 大規模な太陽光発電の設置について (1)設置・運用の手続き (2)市内の設置状況 (3)2030年代問題 2. 市道の維持管理について (1)道路管理方法 (2)道路損壊の事例 (3)補修対応状況及び予算推移 (4)側溝の機能保全
塚本 博幸 (幸風会)	1. 廃棄物最終処分場建設計画の設置許可に至る経緯と今後の対応について (1)7月31日に開催された市民説明会後の対応状況 (2)第2回市民説明会開催計画 (3)県の設置許可に至るまでの経緯 (4)日常的な管理と異常時の対応 (5)新たな廃棄物最終処分場の設置計画に対する対応 (6)今日までに至る総括と今後の方針
林 博幸 (興隆会)	1. 東山代町で発生した強盗殺人事件について (1)防災行政無線での放送状況等 (2)防犯対策 (3)在留外国人との共生 (4)市長の今後の危機管理体制と多文化共生の考え 2. 水道事業の運営について (1)水道管の漏水状況 (2)老朽管等の対策 (3)水道事業における水道料金の考え方
前田 邦幸 (興隆会)	1. 令和7年7月20日に執行された参議院議員通常選挙について (1)投票率等の評価 (2)投票時間の繰り上げの評価 (3)期日前投票所増設の効果 2. 保育行政について (1)少子化における保育園に対する考え (2)2歳までの保育料の無償化 (3)今後の保育園の考え
山口 常人 (幸風会)	1. 東山代複合施設について (1)令和7年度よりの供用と考え方 (2)コミュニティセンターの供用を受けて (3)令和7年度分(二期工事)の進捗状況 (4)市長の思い 2. 市民への安心、安全について (1)防犯灯の設置状況は (2)防犯カメラの設置推進化 (3)伊万里駅前交番の必要性 3. 伊万里市の活性化について (1)商店街の活性化、空店舗の活用 (2)伊万里焼の利用促進と助成 (3)今後の市街地の活性化に向けた市長の思い
加藤奈津実 (興隆会)	1. 伊万里市消防団について (1)令和7年度夏季点検の振り返りと今後 (2)機能別消防団の考え方と導入方法 2. 廃棄物最終処分場について (1)これまでの経緯 (2)市民説明会の対応 (3)要望書等の内容と対応状況 (4)今後の方針

定例会

予算・決算

常任委員会

報告

一般質問



防犯カメラについて

前田 久年

質問 防犯カメラ設置はどのような効果があると市は考えているのか。

答弁 総務部長

まず、心理的圧力がはたらくので、犯罪の抑止に一定の効果はあると考える。一方で住民には監視されているという心理負担を与える可能性もあり、プライバシーにも配慮しなければならないと考える。

質問 東山代町での強盗殺人事件をきっかけに防犯意識が高まり、各地区で防犯カメラの設置希望が増えると思うが、その対応は。

答弁 総務部長

各地区の防犯カメラの設置希望を調査するため、8月の各地区の区長会で調査票を配布し、9月中に回答を取りまとめて、市に提出していただくように依頼をしたところ。

廃校活用について

質問 5年後、10年後の児童生徒数の予測と小、中学校の整備計画はどうなっていくのか。

答弁 教育部長

5年後の令和12年については、児童生徒数は3,575人と推計される。10年後の推計としては、3,000人に満たない予測。令和7年5月1日時点の児童生徒数4,244人から、5年後、10年後は大きく減少することが危惧される。

質問 廃校をどう活用していくのか。

答弁 教育部長

「伊万里市公共施設等総合管理計画」において、速やかに行政財産としての用途を廃止し、民間に売却するなどの手段を講じることとしている。

基本的には市から手放していく方針であり、地域の皆様の意向を考慮しながら、一定の条件を付けて、売却先を探す。



国政選挙について

児玉不二子

質問 投票日の投票時間の2時間繰り上げと期日前投票所増設の周知方法は。

答弁 選挙管理委員会事務局長

投票所入場券への記載、広報誌やホームページ、全戸に配布する選挙チラシへの掲載、LINEでの通知などを行った。

質問 さらなる投票率向上のために、期日前投票所の増設や企業、高校等での期日前投票の考えは。

答弁 選挙管理委員会事務局長

今回3か所で増設したが、市役所本庁での期日前投票を実施しながら、また、同時並行で投開票日に向けた準備を進める中で、3か所で半日ずつであれば、何とか時間と人員のやりくりが可能であると判断した。投票管理者や投票立会人、従事する職員の確保などの課題があるので現時点ではこれ以上の増設はない。また、企業、高校等での投票の実施も現時点では難しい。

まちづくりについて

質問 伝統行事や伝統芸能の存続を支援するための対策は。

答弁 教育部長

重要無形文化財として指定されている3件に、保護団体等の活動を活性化するため活動費の一部を補助している。指定されているもののほかにも、民俗行事や芸能に文化庁による文化芸術振興費補助金交付制度、地域文化財総合活用推進事業を活用している。補助対象となる事業の一つ目は用具等整備事業、二つ目は後継者育成事業、三つ目は記録作成、情報整備事業の三つのメニューで構成されている。補助金制度は毎年、各コミュニティセンターを通じて、各区長に伝わるように広報している。



学校給食無償化について

井手 勲

質問 今年度唐津市が2学期から、佐賀市が3学期を、無償化することに決定。その他に6町が実施されている。本市においても中学3年生だけでなく全ての小・中学生の給食費の無償化を実施すべきと思うが。

答弁 教育長

学校給食を完全無償化すると毎年2億4,800万円が必要となり、実施は困難。国のほうで令和8年度に小学校の給食費を無償化、次に中学校へ拡大するとの方針が示されているので、国の今後の動向を注視する。

答弁 市長

義務教育にかかる経費はやはり国が出すべき。給食費の無償化という面では恒久財源が必要であり、国の動向に期待したい。

廃校跡地の現状

質問 旧波多川小学校跡地は廃校になって29年が過ぎた。今は波多川小学校校区の集落で年に2回中央部だけを管理されているが、周辺部分は草木の繁茂で荒れていて隣接する民家の迷惑になっている。改善を願う。

答弁 総合政策部長

旧波多川小学校の跡地については平成8年3月に閉校となり、平成10年より公募による売却手続をしたが、売買契約には至らず、普通財産として管理している。地元6地区の皆様管理作業をしていただき、ありがたく思っている。民家の屋根廻りの支障木など早急に樹木を伐採するために発注し、環境の改善を行う。学校敷地内の大きくなり過ぎた木については伐採を含め必要な対応をする。



廃棄物最終処分場建設について

松尾 真介

質問 主な経過とこれまでの市の動き・対応は。

答弁 市民交流部長

平成28年8月24日、協定書作成等の委任を受けた株式会社肥前環境の代理人から、産業廃棄物最終処分場の計画の話が口頭であったことを皮切りに、令和7年9月9日、市から事業者に対して、市民への十分な説明を求めるとともに、理解を得るまで工事着工の延期を要望する文書を提出した。

質問 浸出水調整槽の貯水能力と処理水の安全性は。

答弁 市民交流部長

想定外の雨量が心配されるが、処分場周辺には、側溝が整備されており、雨水は側溝を通してそのまま排出される。処理水に関しては、最終処分場の中で、廃棄物に触れた浸出水は処理施設で、6つの工程を経て、カルシウムや窒素、重金属などを国が定める排出基準まで浄化、処理した後に放出される。

質問 計画地の使用年数20年後の企業・市・県の対応と責任は。

答弁 市民交流部長

20年が経過した後も、維持管理が適正にできるように、埋め立て期間中に法に基づいて、事業者は維持管理費を積み立てる。モニタリングを続けていく中で、処理をしなくても水質に問題がないことを県が確認できれば、処分場の廃止という手続きを行う。廃止後の跡地利用は地元の意向も考慮して検討される。





「不登校」児童生徒への支援

【その他の主な質問】

・学校弁護士
・教員業務支援員

盛 泰子

質問 文科省による「誰一人取り残さない学びの保障」の実践の場として、教育支援センター「せいら」の他、南波多郷学館・伊万里中・啓成中には校内教育支援センターがあり、児童生徒に寄り添った支援がなされている。昨年度は全く登校できなかったが校内支援センターには来られるようになった生徒や、「せいら」へ通っていた中学3年生の全員が高校へ進学した等、嬉しい報告があった。特に校内教育支援センターは全ての学校に設置すべきだが、どのような状況か。

答弁 教育長

今年度から「せいら」では通級しやすくするため開始時間を早めると共に、関係機関との連携強化のため職員の勤務時間を延長し、外国語指導助手も週1時間配置した。校内教育支援センターは、空き教室の確保が難しい学校もあるが、安心して学べる環境を整備するため、増設へ向けた検討を積極的に進めたい。

廃棄物処理場の手続きに関する問題

質問 ①1997年の廃棄物処理法改正で、「縦覧の告示後に、関係市町村長や利害関係者から意見を聴かなければならない」との趣旨の内容が入ったが、それは生活環境保全上の見地からの意見のみである。他県のようにもっと早い段階で意見聴取を義務付ける条例の制定を要請すべきでは。②県を待たずに市でも条例制定を。

答弁 市長

①県指導要綱の見直しは必要だと思っており、要綱ではなくて条例化が可能かどうかについて話をするが、県の判断を待ちたいと思う。②事前公開など、市としてできることの条例化を指示している。



黒塩地区における廃棄物最終処分場

梶 山 太

質問 環境保全協定の内容と協定立会人となった理由は。

答弁 市民交流部長

地元住民等が法令や条例の規制を上回る、自主的な環境保全対策を事業者に促すため、当事者間で交わすもの。立会人は、必須ではなく、双方の合意により締結されたことを確認証明する役割を担う。署名については、計画に同意したという意味ではない。

質問 市の処理水についての監視（モニタリング）体制は。

答弁 市民交流部長

現時点で年4回、2地点で海水採水を実施している。新たに8月の調査より、処理水放流予定の場所から約250mの地点に採水ポイントを増やし、水質の確認を始めている。

質問 今後の対応は。

答弁 副市長

市民の皆様は情報を広げることができず、不安感を抱かせてしまったことから、早い段階で周知ができる仕組みづくり、具体的には情報提供に関する条例制定を考えている。

医療的ケア児の現状と避難計画

質問 医療的ケア児の災害時における避難計画の現状は。

答弁 健康福祉部長

一時避難所である地区のコミュニティセンターに避難していただく計画である。また、医療的ケア児と御家族については、一般の避難者とは部屋が別になるよう配慮している。

質問 医療的ケア児専用の避難所の考えは。

答弁 市長

専用の避難所は、必要なものであると認識している。医療的ケア児の御家族のニーズを把握し、避難所運営に反映していきたい。



大規模な太陽光発電の設置について

香月孝夫

質問 「伊万里市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」の概要は。

答弁 市民交流部長

地域住民とのトラブルの未然防止を目的とした市独自の条例。対象事業区域敷地面積1,000平方メートル以上で、事業開始60日前に市長への届出と併せ、関係住民へ事前の地元説明会を実施し事業計画周知を求める。

質問 関係住民等の範囲は。

答弁 市民交流部長

事業区域の行政区に属する住民、隣接地の土地建物の所有者及び居住者と定めている。

質問 自然環境等の保全判断は。

答弁 市民交流部長

計画書、周知計画書、維持管理計画書等、その地域の景観や、生活環境の保全、環境住民等の理解等、十分な対策が図られていると認めるとき。

質問 2030年代問題は。

答弁 市民交流部長

リサイクルの進捗が望めない場合、太陽光パネルの大量廃棄という事態となり、最終的に処分する量が大幅に増加する懸念がある。

市道の維持管理について

質問 道路側溝機能の保全は。

答弁 建設農林水産部長

地域からの情報提供箇所については調査後、冠水の恐れがあるなど、緊急性や必要性が高い場所から優先的に側溝機能を回復させる取組を継続する。



廃棄物最終処分場の設置許可と今後の進め方

塚本博幸

質問 早い段階で議会、市民に対して、情報公開しなかった理由は。

答弁 市民交流部長

第三者が知り得た情報を公にして良いとの規定がないことから、何ら根拠を持たない市が、民間事業を阻害するような情報公開はできなかった。

質問 県が地元の定義を黒塩地区のみにした根拠は。

答弁 市民交流部長

県要綱に基づき、生活環境影響調査の結果により、黒塩地区を地元とされた。

質問 施設の日常管理は。

答弁 市民交流部長

臭気は、悪臭が発生しないよう土を被せ、粉じんは、強風時の散水や廃棄物運搬車両を洗浄するとのこと。

質問 処理水の検査頻度と情報公開は。

答弁 市民交流部長

処理された放流水の水質検査は、法令に基づき月に1回水質検査機関が検査を行い、その結果は黒川町区長会・牧島地区区長会や事業者のホームページに公開される。

質問 大雨や地震など、異常気象や災害発生時の対応は。

答弁 市民交流部長

大雨は、過去30年間の市における気象データを基に、それに耐え得る浸出水調整槽を建設し、地震は安定計算により、震度6～7程度の地震を想定して安全性を確保すること。

質問 新たな設置計画に対する対応は。

答弁 副市長

早い段階で市民に知らせる情報提供や林地の開発に関する条例を早期に上程し、可決できれば、即運用する。



東山代町で発生した強盗殺人事件について

林 博 幸

質問 この事件の発生時刻は16時20分であったが、防災行政無線での放送が23時を過ぎた。一義的には警察が対応すべき事案であるが、犯人が刃物を持って逃げたため、防災行政無線など市民への情報伝達手段を有する市は、市民に少しでも早く情報を伝える臨機応変な対応が必要だったのではないかと。

答弁 総務部長

今後も協定書どおり伊万里警察署において放送することが前提ではあるが、伊万里警察署が放送できない場合は、市へ申入れをしていただいた上で、市は迅速に市民に情報提供できるよう体制を整える旨の確認を伊万里警察署と行った。

質問 多文化共生について、今後どのようなことに力を入れていくのか。

答弁 市民交流部長

オーサム伊万里の活動などこれまでの取組に加え、事業者と連携した技能実習生の言葉や生活ルール等の学びの支援、企業等への市の多文化共生の取組周知、外国人の地域イベントへの参加などによる交流などに力を入れていく。

水道事業における水道料金の考え方について

質問 人口減少や物価高騰による経営への影響に加え、水道管の漏水対応や更新事業を行う中で多額の経費も発生している。県内の他事業体と同様に料金の値上げも検討する時期ではないか。

答弁 市長

経営状況は内部留保があり累積黒字でもあることから、現時点では市民の皆さんに負担をかける必要はない。料金を改定する時には、上下水道審議会の皆さんに丁寧に説明しながら進めていく。



令和7年7月20日執行された参議院議員通常選挙について

前 田 邦 幸

質問 今回の選挙において、投票所の変更に対してはどのような周知をされたのか。

答弁 選挙管理委員会事務局長

周知については、投票所入場券への記載、広報誌やホームページ、選挙チラシの記載に加え、山代第3投票区は全世帯にお知らせチラシを配布したほか、広報車での広報など行った。

質問 今回から山代町、波多津町と大川町の3か所の増設の効果と声は。

答弁 選挙管理委員会事務局長

増設した期日前投票所を利用した方は便利になって、選択肢が増えたと好評だった。

保育行政について

質問 市内保育施設における利用園児数の直近3年間の推移は。

答弁 健康福祉部長

令和4年度1,914人、令和5年度1,811人、令和6年度1,795人と3年間で約6%の119人減少している。

質問 少子化対策として、0歳から2歳の保育料の無償化をするべきと考えるが。

答弁 健康福祉部長

0歳から2歳を完全無償化となれば、新たに約2億1,000万円の一般財源の増となり、ほかの子育て支援施策にも影響を及ぼすため、実施は難しいと考える。

質問 年間出生数が307人と減少する中、園児数も減少しており、特に周辺部は厳しい状況である。周辺部の保育園にどのような支援をしていくのか。

答弁 健康福祉部長

地域における保育園の持続的な運営について、各園と協議を通して、保育園の将来像を検討していく必要性を認識している。



東山代複合施設について

【その他の主な質問】

・市民への安心、安全について

山口 常人

質問 令和7年度より東山代複合施設の供用が開始され、学校や子どもたちの反応や様子は。また、課題への取り組みは。

答弁 教育長

今年度の4月から新校舎で学校生活をスタートさせた子どもたちは、全てが新しくなった喜びと、学習や様々な行事に意欲をもって取り組んでおり、また、毎日の掃除活動にも力が入っている。

学校運営を進めていく上では、目標やビジョンを地域住民と共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指すこととしている。

質問 令和7年度分(二期工事)の進捗状況は。

答弁 教育部長

工事内容は、主に旧施設の解体工事、屋外運動場及び駐車場の舗装工事、外構工事の3つであり、進捗としては全て予定通り。全体の竣工期限は来年の2月末であり、3月には落成式を計画している。

質問 東山代複合施設への思いは。

答弁 市長

東山代小学校、留守家庭児童クラブ、東山代コミュニティセンターの複合施設として、市民の皆様にご期待され、令和6年度の卒業式は新しい体育館で行われ、心に残るものであった。

今後、全国からの視察が予想される。

伊万里市の活性化について

質問 伊万里市の活性化は。

答弁 総合政策部長

商店街の活性化、空き店舗の活用に向け様々な支援策を検討し、今後に対応していく。



廃棄物最終処分場について

【その他の主な質問】

・伊万里市消防団について

加藤 奈津実

質問 住民に影響を与える可能性のある計画等を事前に周知し、意見を提出する機会を提供する目的で行われる告示・縦覧の周知について、改善が必要だと考えるが。

答弁 市民交流部長

市のホームページに告示・縦覧の専用ページを設けるなど、検討する。

質問 住民投票は市が行う事業等に対して賛否を問うのが基本であり、今回のように民間の事業かつ県がその結果が反対多数であっても、法に基づく許可を取り消すことはないと言明している状況において多額の市税を投じるのは慎重にならざるを得ないが、既に許可が下りたものに対して市ができることは。

答弁 副市長

まずは事業者が行う水質検査の結果等の把握に努めていく。市には立ち入り検査等を行う調査権もないが、例えば関係者で環境対策協議会のようなものを組織し、監視や報告を受けることは可能だと考える。

質問 有田町にある一般廃棄物最終処分場の容量の限界が近いため、次の処分場について検討課題となっている。私たちは生きていく中で必ずゴミを出すし、企業活動でもゴミが出るのは当然のこと。私たちは自分たちが出すゴミの最終責任と環境問題についてもっと考える必要があると思うが、廃棄物処理に対する市の考えは。

答弁 市長

現在受け入れてくれている有田町にも感謝しなければいけない。一般廃棄物については排出自治体が最後まで責任を持つ義務がある。4市5町で組織する佐賀県西部広域環境組合で処分場を作る必要があると思うので考えていきたい。最後まで責任を持つことが公衆衛生および市民福祉の向上に繋がると考える。

決算審査！議会の意見

令和6年度各会計決算については、以下の意見を付し、全会一致で認定すべきものと決定しました。

① 森林環境譲与税

森林環境譲与税については、一旦まちづくり基金に積み立てた後、翌年度に森林整備や木材利用・普及啓発等、該当する事業に充当されているとの回答があったが、その積立総額や活用後の残高について不明瞭であるため、より分かりやすい公表に努めること。

② 児童福祉使用料

児童福祉使用料の収入未済額411万5,935円について、その全てが留守家庭児童クラブ利用料の未収金であり、これについては文書で督促を行っているが訪問による徴収は行っていないとの回答であった。児童の進級により施設を利用しなくなると徴収が困難になる可能性が高まるため、督促方法についてはより良い方法について検討を行い、未収金の早期の徴収に努めること。

③ 病後児保育事業

本事業では、病気回復期の児童をかかえる保護者を支援するために、「病後児保育室すこやか」を開所している。開所は、平日の8時から17時30分で、延長保育はない。また、定員は2名で、利用前に事前登録が必要となっている。そして、ここ3年の年間利用者数は、令和4年度が7名、令和5年度が5名、令和6年度が5名とのことだった。

年間の利用者数が少数であることが、利用者のニーズに沿った結果であるか、利用するまでの登録や申請、開所時間等に課題はないかを確認するために、機会をとらえてアンケートを取るなどして、真に子育て世代の支援となるよう調査・研究し、利便性の向上を図るとともに周知に努めること。

〈委員長〉加藤奈津実／〈副委員長〉井手 勲

〈委員〉金原 晋作／林 博幸／塚本 博幸／力武英一郎／木寺 智子／川添 智徳
児玉不二子／松尾 伸人／西田晃一郎／山口 常人／前田 邦幸／松尾 真介
香月 孝夫／梶山 太／前田 久年／盛 泰子

④ 消防団運営事業

消防団の活動環境の充実を図るため、新たに強度の高いフェイスシールド付き防火帽を令和6年度から令和8年度の3年間で合計408個購入し、各分団に配備する計画であったが、物価高騰の影響で令和6年度の購入数は予定していた138個より少ない129個となり、配備計画を見直す必要があるとの説明があった。

消防団は、地域における消防・防災の中核的存在であり、火災現場においては、初期消火や消防隊員の後方支援など、その場に応じて様々な活動を行っている。消防団員が、安心して活動を続けられる環境を整えることこそが、地域の安全・安心につながるものである。したがって、消防団活動に寄与する防火帽については、当初の計画どおり3年間で配備するよう予算の確保に努めること。

⑤ 青少年相談事業

本事業では、青少年相談室を設置し、青少年や保護者等からの悩み事の相談に電話及び面談で対応している。相談対応は平日の9時から17時までで、「青少年なやみ相談つくしの会」に委託し、教職員経験者等が、これまでの経験を生かしながら相談業務を行っている。

また、令和6年度の相談件数134件のうち、「その他の成人」が89件と大半を占めており、児童生徒及び保護者からの相談の割合が少ないことから、相談できる時間帯や手段など、現状に相談しづらい課題があるのではないかと考える。

よって、まずは相談者が悩みや不安をいつでも打ち明けられる環境を整えるため、時代の変化や通信手段の利用状況を踏まえ、LINEやメール等の活用について検討すること。

⑥ 水道事業特別会計

今後、人口減少に伴い、家庭用有収水量の増加が見込めないこと、老朽化施設の更新事業に伴う減価償却費などの固定費が増加することなどから、経営悪化が懸念される。

引き続き安全・安心な水道水の安定供給に向け、より経費の節減に努めるとともに、人口減少が本事業に及ぼす影響を見据えた上で、将来にわたり本事業を安定して継続できるよう、調査・研究に努めること。

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、工業用水道事業特別会計、下水道事業特別会計についても審査を行い、適正に事業に取り組まれていることを確認しました。

※ページの都合上、意見は一部抜粋です。

ようこそ！伊万里市議会へ

伊万里市議会第3回定例会の会期中に、
2グループが議会見学にいっていただきました。

9月29日(月) | 佐賀大学 学生4人

議場を見学し、開催中であった決算審査特別委員会(文教厚生分科会)の審査を傍聴されました。



10月1日(水) | 立花小学校 児童4人

議会棟全体を見学し、議場では、議長席や議員席に座ってみたり、マイクを使って発言してみたりの体験をされました。



！伊万里市議会では、随時見学を受け入れています。

お気軽に議会事務局 ☎0955-23-2594 までお問い合わせください。

編集後記

今年の夏は猛暑日が続き、10月に入ってから日中は残暑が厳しい日々でありました。今年もいよいよ師走に入り肌寒くなってまいりましたが、市民の皆様も季節の変わり目を感じておられるのではないかとお察しします。

私事ではありますが、初めて議員になってから早くも2年半の時が流れました。初当選後、最初にある先輩議員から「一期4年なんてアツという間ですよ」と言われていたのが懐かしくも思い、また事実だったなと感じている今日この頃です。

さて、この議会だよりは、年に4回編集し発行しています。編集している広報広聴委員会は、常任委員会や特別委員会、議会運

営委員会から選出された6名と副議長の合計7名で構成されています。一期2年で、私は今回初めての選出となりましたのでこれからよろしくお願い致します。(川添智徳)

広報広聴委員会

〈委員長〉西田晃一郎

〈副委員長〉児玉不二子

〈委員〉加藤奈津実 金原 晋作
木寺 智子 川添 智徳
松尾 伸人

[発行・ご意見]

伊万里市議会 伊万里市立花町 1355-1

TEL0955-23-2594 FAX0955-22-1277

E-mail:gikai@city.imari.lg.jp

[編集] 広報広聴委員会 [印刷] 株式会社エーワン